

患者さんへの説明文書（ホームページ記載）

2013年4月1日～2015年10月13日の間に、川崎医科大学附属川崎病院ICUで肺炎の治療を受けられた患者さんへ

課題名：ICU肺炎の起炎菌

背景：

市中肺炎の起炎菌で最も頻度の高い微生物は、肺炎球菌です。しかし、重症肺炎、特にICUでの治療が必要な肺炎の起炎菌に対する知見に乏しいのが現状です。

目的：

ICU肺炎の起炎菌を明らかにすることです。

明らかになれば、適切な抗菌薬を選択する事ができるため、予後改善に役立つと考えられます。

対象：

川崎医科大学附属川崎病院ICUにおいて、2013年4月1日～2015年10月13日までの間に、治療が行われた肺炎症例を対象とします。

方法：

上記対象者のカルテより起炎菌を検索します。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では教員研究費のみを使用します。

この研究は、どこからも資金援助は受けておらず、実施にあたっては、事前に本学の利益相反委員会にて審査を受け、承認を得ており、学会発表や論文公表に際しても、資金に関して公表し、透明化を図ることとしています。

また、当院では、第一三共株式会社、大正富山医薬品株式会社より、奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。上記企業は本研究には関係ありません。

***本研究は呼吸器臨床においては非常に重要な研究であり、対象者については特定されることはありませんのでご心配なさらないでください。また、患者さんに身体的、経済的負担をかけることはありません。研究への参加を希望しない方や不明な点などある方は、お問い合わせください。**

【問い合わせ先】

総合内科学1 教授 沖本 二郎

電話：086-225-2111（内線3873）

メールアドレス：n.okimoto@med.kawasaki-m.ac.jp